

●クラウドソーシング事業とは

クラウドソーシング（もしくはマッチングシステム）とはインターネット上で業務委託者と業務受託者のマッチングを支援する仕組みです。この仕組みを利用し、仕事を依頼したい方と受託可能な方のマッチングを支援します。

クラウドソーシングとマッチングシステムの相違は、前者は業務委託費を CNCP が事前にお預かりして責任をもって支払を管理する仕組みであり、後者は当事者間で直接やってもらい CNCP は一切関与しない仕組みと定義しています。

●会員への意向調査結果

事前に本事業に対する会員の第1次意向調査を10/7～10/21に、第2次意向調査を10/26～11/5に実施しました。法人正会員12名、個人正会員12名、賛助会員6名の合計30名の回答結果は以下の通りでした。

- ①クラウドソーシングやマッチングシステムは67%が必要との回答。判らないが30%。
- ②どちらの仕組みが良いかについてはクラウドソーシングが41%に対してマッチングシステムが良いと判らないを合わせると59%と意見が分かれた。
- ③CNCPが本事業を開始したら利用するかの問いに対しては76%が利用する回答。判らないが21%。
- ④期待する役割は・シニアエンジニアの経験と技術を活かす場（71%）・会員同士の相互扶助（54%）・人材データベース（54%）
- ⑤委託者のメリットは・経験と技術のあるエンジニアを探すことが出来る（68%）・幅広い分野の専門技術者を雇用できないのをカバー（61%）・経験と技術のあるエンジニアの不足が補える（61%）
- ⑦受託者のメリットは・技術と経験を活かす場（82%）・保有する技術のアピール（54%）
- ⑧期待できる業務内容は・NPOが持つ地域に根ざした専門性と先駆性を活かした事業（71%）・NPOが受託した業務で対応困難な業務の部分的な扶助（50%）
- ⑨期待できる分野は・まちづくり分野（64%）・インフラのメンテナンス分野（61%）・環境保全分野（46%）・人材教育と技術継承分野（46%）・防災減災分野（46%）
- ⑩利用範囲はCNCP会員以外にもオープンが64%と回答。
- ⑪登録料金はCNCP会員は無料は89%。会員外有料46%
- ⑫システムの利用料金は委託業務費の5%（39%）、10%（32%）、委託業務費額別に設定が18%
- ⑬登録IDの発行は代表IDが42%、希望があれば組織別が46%とほぼ互角

●意向調査結果を受けて

本事業はそもそも賛助会員も含めた会員サービスの一環として企画された事業です。アンケートの回答率は法人正会員55%、個人正会員57%に対して賛助会員は19%しか得られませんでした。今後は賛助会員に対して広く本事業に対する周知と理解が得られるような活動が必要と考えます。今後の予定としましては今回の意向結果を反映させたシステム仕様を作成し、システムの開発に取り掛かり今年度中に事業開始をめざします。まずはユーザーの規模が拡大する事を念頭に入れた利用ルールにして参ります。

# CNCPクラウドソーシング事業に関する意向調査アンケート結果報告(N=30)

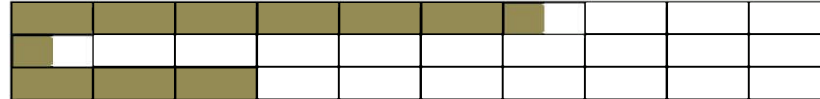
N=30 (法人正会員12、個人正会員12、賛助会員6)

2015年11月5日現在

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 (%)

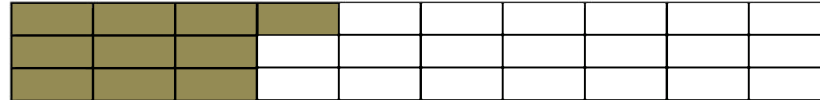
質問1:クラウドソーシングやマッチングシステムはCNCPとして必要ですか？

- ① 必要と思う。(67%)
- ② 必要ないと思う。(アンケート終了)(3%)
- ③ 判らない。(30%)



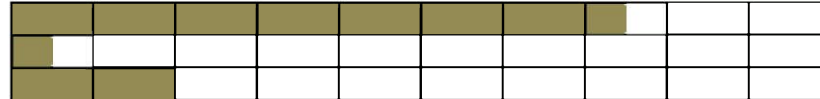
質問2:クラウドソーシングとマッチングシステムのどちらが良いですか？

- ① クラウドソーシングが良い。(41%)
- ② マッチングシステムが良い。(28%)
- ③ 判らない。(31%)



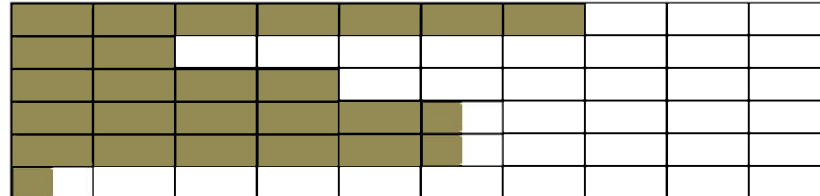
質問3:CNCPが本事業を開始した際にご利用頂けますか？

- ① 必要な業務があれば使うと思う。(76%)
- ② 使うことは無いと思う。(アンケート終了)(3%)
- ③ 判らない。(21%)



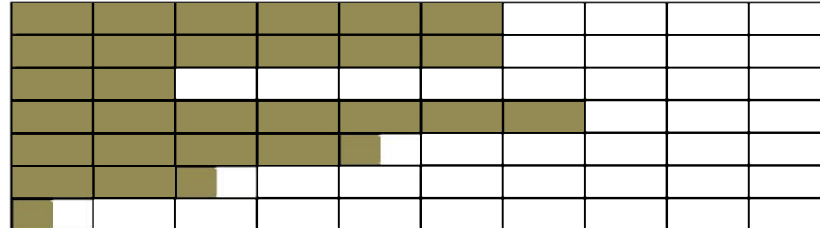
質問4:本事業で期待すべき役割はどれですか？(複数回答可)

- ① シニアエンジニアの経験と技術を活かす場(71%)
- ② 自己情報源の場(21%)
- ③ 地域情報・課題対応および解決の場(39%)
- ④ 会員同士の相互扶助の場(54%)
- ⑤ 人材データベース(54%)
- ⑥ その他(7%)



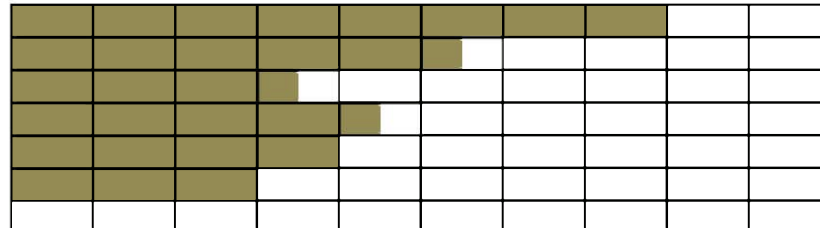
質問5:業務委託者のメリットはどこにあると思いますか？(複数回答可)

- ① 幅広い分野の専門技術者を雇用出来ないのをカバーできる。(61%)
- ② 技術と経験のあるエンジニアの不足が補える。(61%)
- ③ コストカットが図れる。(21%)
- ④ 技術と経験のあるエンジニアを探すことができる。(68%)
- ⑤ 信頼できる企業・NPO・個人の選択が容易となる。(43%)
- ⑥ 情報交流の場となる。(25%)
- ⑦ その他(4%)



質問6:業務受託者のメリットはどこにあると思いますか？(複数回答可)

- ① 技術と経験を活かす場となる。(82%)
- ② 保有する技術をアピールできる。(54%)
- ③ 在宅で業務が出来る。(36%)
- ④ 自由に案件が選べる。(46%)
- ⑤ 技術支援需要の動向を知ることが出来る。(39%)
- ⑥ 情報交流の場にできる。(32%)
- ⑦ その他(0%)

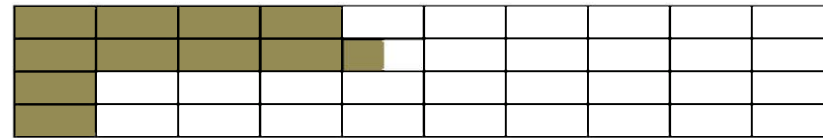




0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 (%)

**質問12: CNCP会員の登録IDの発行範囲**

- ① 法人正会員、個人正会員、賛助会員の代表ID(42%)
- ② 個人正会員以外は組織別に希望する複数のID(46%)
- ③ 全て個人レベルのID(8%)
- ④ その他(8%)



**質問13: 検索機能としてご希望があれば自由に挙げて下さい。**

- ・登録者の個人データが集まれば、技術者データベースにも使えると思う。どこまでの個人データが収集できるかによる。
- ・どのような内容で、情報を整理するのか判りませんが、少なくともキーワード検索は必要と考えます。
- ・当初はハードルを低く登録料は無料でスタートし、情勢を見て有料化してはどうか。
- ・当初は試行版としてハードルを低くしないと、利用者が敬遠するだろう。
- ・本来は代表IDとすべきだが、個人ベースで繋がるケースもあるので...
- ・市民と行政を連携するような業務、たとえば地方議会支援のようなメニューもほしい。
- ・単純な技術業務での検索は容易だが、政策支援などソフト業務とのマッチングは難しい。
- ・本アンケートの質問8のメニューでは不足、何処まで詳細なメニューを示すかですね。
- ・その昔、広島の中中国地域づくり交流会 (<http://www.c-haus.or.jp/>) という「人材接着業」みたいなクラブに出入りしていた時、事務局の「地域の人名事典」のような凄腕には助けてもらった。  
この采配をCNCPではクラウドでやろうという発想に期待したいです！
- ・民間企業として営業情報の収集、及び創注機会の獲得、NPO受託業務で対応困難な部分の「請負」  
会員は無料。会員外利用料についてはシステム運用メンテ費用を勘案して設定すべき
- ・登録料金は当初は期限付きですべて無料化。その後、オープンに有料化。
- ・登録料金は正式にスタートして1年間無料といったまず数を集める工夫が必要
- ・システムの利用料金は(5万円±1万円を10%とし、その上下で段階的にMax15%, Min5%くらいが妥当では
- ・IDの発行については非会員も同様とするが、登録要件を決めておく必要がある
- ・システムは理解できませんが、NPO法人活動の中で利用できるか判りません。